



勝負の2学期がスタート

2学期がスタートして、約1か月。

3年生は、いよいよ就職試験がスタートし、面接試験や合否の結果に落ち着かない毎日を過ごしていることと思います。進学希望の人も、面接指導が始まり、クラス内にもこれまでにないピリピリとした空気が漂っていることでしょう。

1年生は、8月末に同じ商業を学んでいる生徒による東北の研究発表大会を見学して、素晴らしい研究発表とはどのようなものかということを実際に自分の目と耳で実感できたことでしょう。発表の舞台の大小はあっても、人前で話すということは、将来必ず求められることですから、今回のイメージをもって発表準備にあたってほしいと思います。

また、情報処理検定に向けて、筆記試験や実技試験に向けて取り組んだ1か月でもあったと思います。合格・不合格の結果が、一番の関心事なのはもちろんですが、検定試験に向けた学習を振り返ったときに、皆さんは「自分は成長できた」といえるでしょうか。皆さんが商業科を選んだ理由の1つに様々な資格を取得できるということがあったと思いますが、商業系の学科を卒業して30年経った現在振り返ってみると、数々の検定試験の合格証書よりも、合格に向けてクラスメイトと教え合ったり個人で粘り強く取り組んだりしたことが、社会人になってから、それまでに経験のないことに直面した時に自分の支えになっていたんだと強く感じます。検定試験だけでなく、毎日の授業や家庭学習に集中力を持って取り組み、オンとオフのけじめをしっかりつけて一日一日を過ごしてください。

面接試験で大切なこと — すべてが自己PRのつもりで

就職・進学を問わず、面接試験は年齢・経験の有無を問わず、誰もが不安になるものです。学校で先生や友人と何度も面接練習を重ねても、「練習していないことを聞かれたらどうしよう」、「上手く答えられなかったらどうしよう」と考えれば、考えた分だけ眠れなくなってしまいます。面接試験で大切なことは、どのようなことだと思いますか。答えは1つではありませんが、自分の意欲、やる気を相手に伝えること、そして、自分を合格・採用してもらうように相手を説得することであるといえるでしょう。

以前、各高校で就職の支援を行っている進路アドバイザーの方の会議に出席させていただいたときに、このような話を伺いました。志望動機というと、「子どもの頃から〇〇が好きで〜」「〇〇に関心があって〜」ということをよく聞きますが、そのようなことよりも、「自分はどうしてもこの会社に入って、〇〇に力を入れて働きたい。」「自分の持っている〇〇の力をこの会社で発揮して、この会社の〇〇をさらに発展させていきたい。」というように、この会社・仕事に興味があるのではなく、自分の持っている”力”をこの会社・仕事で活かそうとしていること、そして、自分は何が何でもこの会社に入りたいんだということを相手に伝えることが必要だということでした。

1・2年生の皆さんは、来年・再来年になりますが、自分が相手にPRできる”力”を「探す」のではなく、「つくっていく」ことを意識してください。また、様々な資格を取得しているということも重要ですが、皆さんが学び、演習や実習を積み重ねて身につけた様々な商業に関する科目こそが、皆さんの最大の力になることをどうか忘れないでください。そして、教科書や検定試験だけでなく、普段からいま実際に起きている商業・経済関係のニュースに関心を持つように心がけてほしいと思います。

プレゼンテーションは言葉の贈り物（プレゼント）

9月30日(月)に、台風で休校となり延期となっていたプレゼンテーション講座を国際プレゼンテーション協会より講師の方をお招きして、「“伝わる”プレゼンテーション技術の基本を学ぶ」を目的に実施します。プレゼンテーションは、「説明、発表、提示」「相手に対して情報を提示し、理解を得るようになるための手段。」などといわれています。就職・進学試験の面接、仕事で自社製品の売り込み、人前でのスピーチ、大好きな人への告白、そんなときにきっと活かせると思います。

商業科カレンダー



- 17日(火) 情報処理検定課外
～20日(金)
- 22日(日) 情報処理検定試験
- 24日(火) 情報処理室・実践室機器更新工事
- 30日(月) プレゼンテーション講座

「自分の考えをしっかりと伝える技術」
八幡 純声史 著

17 ページより



ポイント

相手に伝わるように、相手が聴きたい順番に話す内容を並べ替えることが大切